

右のようなりボンビームを入射するツールを送ります。

1) まず、自分で準備した逆トラッキングで得た、4つの相関 $AX, AY, A1, A2$ を算出。

AX は $x-x'$, AY は $y-y'$ $A1$ は $x-y$, $A2$ は $x'-y'$ の相関よ。

2) thinkLine.C の195行目に 上記のパラメータを書き込む。
実際に使うのは、 $AX, AY, A1$ だけだね。

3) `root -l thinkLine.C` すると、`inInjTwissL_2021miniSol_line4.txt` というファイルを吐き出す。
本当は、ガウス分布のTwissParameter を反映させた分布を欲しいところだが、まずは練習なのでリボンビームにしています。

4) `root -l inpManLsol2022.C`

とする。これは、`nindex2_base.txt` というリファレンス軌道を中心に、
(3) で作った相関をもつ10本軌跡の入射点を生成します。

出力は`InputTest_Lsol_XY_line4.txt`

5) `./opera.sh`

とする。これは、10本分の初期値のデータをオイラー角計算して
`comi` ファイルで読める形式にする。

6) `Lsol_try2022.comi`

で計算をする。これで添付のリボンビームができます。

ここまで、今日のうちにできれば 金曜に ガウス分布のTwissパラメータを入れたビームが計算できるようになると思う。

